

令和2年度 学校経営環境分析書

両城中学校区 校番 14 学校名 呉市立両城中学校

1 学校の内外環境の分析

外部環境	 (支援的要因)	 (強み)	内部環境	支援的要因と強みを生かした活動・取組は ○思いと行動の一致を図る「両中しぐさ」を実践できるよう地域と連携した取組 (O①②③ S①⑦) ○「主体的・対話的で深い学び」となるための研修の充実 (S②③④⑤) ○生徒会活動を中心に生徒の自治能力を高める活動の推進・生徒主体の学校づくりの推進 (S⑥⑦) ○目指す児童生徒像の具現化及び夢や志の実現に向けた系統的な指導(小中一貫教育の充実) (O③④⑤ S⑤⑥)
	 (阻害的要因)	 (弱み)		○家庭・地域と連携した生活規律を確立する取組 (T①② W②③④) ○基礎・基本の徹底及び思考力・表現力の向上を図る取組(家庭学習の取組, 授業改善の取組, 校内研修) (T① W①②③) ○自己肯定感を高める取組(交流, 相互評価, 振り返り) (T①②③④ W②③④⑤) ○自己指導能力を育成する取組(振り返り・教育相談の充実) (T①③ W②③④⑤) ○自主性・主体性の育成(生徒会活動の活性化, 総合的な学習の時間の充実) (T①③ W①③) ○「特別な教科 道徳」の授業の充実 (T③ W②⑤) ○ソーシャルスキルトレーニングなどの手立て(T③ W⑤)

2 重点課題

阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は

- (1) 中学校区で育成すべき資質・能力の育成に向け、「主体的な学び」を実現する授業改善を推進する。
  - ・生徒の興味・関心を促す課題を設定し、あるいは設定させ、その課題解決に向けて、生徒が自ら探究活動を進める工夫をする。小中一貫で取り組んでいる「二川授業スタイル」をベースに、さらに「考える授業」づくりを進める。
- (2) 自己指導能力及び自己肯定感を向上させる。
  - ・現在の自分と将来の自分を切り結ぶことができるように、夢に対する現状を見つめさせ、自ら考え行動を計画し、調整し志に高める力を育てる。
  - ・生徒会を中心とした生徒主体の学校づくりの推進を継続する。
  - ・生徒指導の三機能(自己存在感・自己決定・共感的人間関係)を基盤に、積極的な生徒指導を組織的に行う。